

南姫児童センター 事業評価表

※事業区分「1」…仕様書事業、「2」…自主事業(企画・事業)

項目	事業 区分	実施日・事業名	実施日	指定 回数	年度評価		実施 回数 R1	令和元年度の参加人数					実施 回数 R2	令和2年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					令和 元 年度	令和2 年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
乳幼児と保護者を 対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ 0歳 ・ベビークラブ	毎月 1、2 回	10	15	13	16	86	0	0	85	171	11	97	0	0	87	184	・コロナの影響で9月開始。11回の活動に多くの親子が参加。 ・自粛生活で外出に慎重な中毎回出席率も良く楽しみにしている方が多かった。保健師を招いた講習会や母親同士の座談会を開き、子育ての悩みや情報交換の時間を設け地域での安心な子育てに繋がた。
		② 乳幼児クラブ 1歳 ・ぴよぴよクラブ	毎月 1、2 回	10			16	143	0	0	117	260	11	85	0	0	85	170	・コロナの影響で9月開始。11回の活動に多くの親子が参加。 ・手指を使う製作や遊び、身体を使う運動遊びをバランスよく取り入れ実施。母親から離れられなかった子も他の子の姿を見て遊びに入っていく等クラブの中で刺激を受けて成長する姿が見られた。
		③ 乳幼児クラブ 2歳 ・ちびっこクラブ ・キンダークラブ	毎月 1、2 回	10			31	162	0	0	134	296	22	127	0	0	101	228	・コロナの影響で9月開始。運動機会を増やし多くの親子が参加。 ・体験会を行い、体力作り中心のキンダークラブ、季節行事等いろいろな遊びを体験するちびっこクラブを子どもが選択。 ・キンダークラブはマット運動やサーキット等運動遊びを通し順番を待つことや友だちとの関り方を、ちびっこクラブはなぐり描きや製作遊びを通し自分を表現する、季節を感じる等成長を促す遊びを心掛け実施。
	小 計						63	391	0	0	336	727	44	309	0	0	273	582	
	2	④ ・英語であそぼう(半期5回) ・音楽であそぼう(半期5回) ・幼児トランポリン(5回) ・幼児おはなしなあに(5回) ・発育測定(9回) ・おえかきあそび(4回) ・こどもランド(7回) ・ママピクス ・バランスボール ・わくわくまつり(中止) ・ボールプールあそび ・幼児水あそび ・こどもの日を祝う会 ・父の日のプレゼント作り	随時		15	13	79	572	21	0	468	1061	51	229	8	0	229	466	・コロナの為各行事の定員を少人数にしたため参加人数減少。 ・保護者から発育測定を通し子の成長を知りたいとのニーズがあり「発育測定」を新規実施。小規模であるが、乳幼児向けに「わくわくまつり」を実施。 ・活動時には間隔を空ける、部屋を分ける等工夫。 ・「発育測定」は毎月身長・体重を測るだけでなく手形・足形を取り成長記録として冊子にまとめ保護者にも好評。「おえかきあそび」はいつでも参加できる気軽さと密を避けるという利点があり、毎月楽しみに参加していた。 ・「わくわくまつり」は地域イベントが中止される中、少人数でおまつり気分が味わえ、安心して楽しめる場所として喜ばれた。 ・コロナ下で小さい子を連れた外出が難しく、人数制限や消毒等感染予防を徹底し安全で安心して遊べる場として利用者が多かった。
小 計						79	572	21	0	468	1061	51	229	8	0	229	466		

項目	事業 区分	実施日・事業名	実施日	指定 回数	年度評価		実施 回数 R1	令和元年度の参加人数					実施 回数 R2	令和2年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					令和 元 年度	令和2 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
児童を 対象とし た事業	1	① 一輪車クラブ	月2回 程度	6	15	13	18	0	121	0	4	125	7	1	49	0	2	52	・コロナの影響で9月(一輪車クラブは10月)開始。発表の場がなくなり、活動も制限される中、低学年児童が興味を持ち新規加入者増加。 ・一輪車クラブは検定表を活用し各自が技術向上を目指し、子どもスタッフは館内のボランティア活動を中心に実施。両クラブとも自由来館児童の目に留まる活動とすることで参加への興味を持つきっかけとした。 ・1月に2回目の緊急事態宣言が発令され、一輪車・チャレンジ・ハンドメイドクラブは2月まで中止したが、土岐川観察館とのバードウォッチング体験のみ野外活動であることから実施。コロナ禍の中、感染予防に努めつつできることを考え実施することで、子ども達も満足できる活動となった。
		子どもスタッフクラブ					14	0	102	0	0	102	10	0	51	0	0	51	
		チャレンジクラブ	月1回 程度				9	4	74	0	4	82	7	7	55	0	7	69	
		ハンドメイドクラブ					9	0	78	0	0	78	7	7	52	0	7	66	
		② ボランティア活動	随時				23	0	102	4	0	106	20	4	122	7	3	136	
	・チョコボラ(毎月) ・被災地支援(夏季)																		
	小 計							73	4	477	4	8	493	51	19	329	7	19	374
2	③ 児童 自主事業 ・小学生トランポリン(5回) ・小学生おはなしなあに(7回) ・チャレンジ 番付(9回) ・みんなであそぼう ・つくっちゃおう ・季節行事 (クリスマス会・お正月あそび等) ・卓球大会 ・ガサガサ探検 ・スペシャル工作(長期休暇) (中止) ・新1年生集まれ ・母の日のプレゼント作り ・父の日のプレゼント作り (未実施) ・小学生水あそび ・デイキャンプ ・ハロウィンパーティー ・バレンタインチョコ作り	随時		15	13	104	92	920	3	83	1098	60	43	460	8	38	549	・コロナの為、計画行事の中止が多かったが、人数制限や感染対策等に配慮しつつ可能な事業を実施。 ・夏休みが短縮されたため、冬休みや春休みも利用し、新規にスペシャル工作を実施。 ・家族で参加できる行事として、土岐川観察館の協力のもとガサガサ探検を実施。参加親子が楽しんでいた。 ・外出が難しい中、行事を楽しみにしている子が多い、感染予防に配慮しており、安心して遊ばせる場所として保護者にも信頼されている。	
小 計							104	92	920	3	83	1098	60	43	460	8	38	549	

項目	事業 区分	実施日・事業名	実施日	指定 回数	年度評価		実施 回数 R1	令和元年度の参加人数					実施 回数 R2	令和2年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					令和 元 年度	令和2 年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
地域・多世代間 交流事業	1	① 児童館まつり ・わくわくカーニバル (中止) ・ふれあいセンター姫夏まつり ・ふれあいセンター姫まつり	年2回	1			2	39	52	1	219	311	1	3	15	0	2	20	・8月に「ふれあいセンター姫夏まつり」、3月に「ふれあいセンター姫まつり」を予定したがコロナの為に中止。 ・乳幼児事業の「わくわくまつり」同様、児童センターまつりとして幼児から大人まで参加できる「わくわくカーニバル」を人数制限し感染予防に努めながら実施。
		② 移動児童館(すべて中止) ・30区夏祭り ・サマーわんぱく祭り ・南姫公民館祭り ・スポーツミニフェスタ ・ひめっこ映画会 ・30区どんど焼き	随時		15	13	6	200	417	73	356	1046	0	0	0	0	0	0	・新型コロナウイルスの影響でおまつりなど、すべての地域行事が中止となり未実施。
	小 計						8	239	469	74	575	1357	1	3	15	0	2	20	
	2	③ 地域・多世代 自主事業 ・老人センター合同行事 (寄せ 植え、花餅・しめ縄作り) ・児童センターを飾っちゃおう ・缶バッジを作ろう (中止) ・デイサービス合同事業(クリスマス 会等季節行事) ・老人センター合同事業(節分会 等季節行事)	随時		15	13	13	63	87	2	409	561	4	14	10	0	63	87	・コロナの為計画していたデイサービスとの交流事業はすべて中止。 ・老人センター交流事業は感染防止に努めつつ交流が少ない製作を主とした「寄せ植え」「花餅・しめ縄作り」等を実施。 ・来館者同士の交流を控え、明るく楽しい雰囲気の飾りつけ、お気に入りの写真を缶バッジにする事業等児童センターを身近に感じよう心掛けた。
	小 計						13	63	87	2	409	561	4	14	10	0	63	87	
中高生事業	1	① 中学生 ボランティア ・敬老の日のプレゼント作り ・卓球大会 (未実施) ・吹奏楽部演奏 ・乳幼児とのふれあい ・ふれあいセンター姫夏まつり、 ふれあいセンター姫まつりボラン ティア ・デイキャンプボランティア ・夏のスペシャル工作「スライムをつ くろう」	随時	3	15	13	6	0	0	42	0	42	2	0	0	9	0	9	・コロナ禍で例年のような活動はできなかったが、被災地(大槌町)に贈る敬老の日のプレゼント作りや卓球大会を手伝った。制限が多い中での活動だったが、各自の意欲を大切に実施し、ボランティアに関心を持つことができた。
	小 計						6	0	0	42	0	42	2	0	0	9	0	9	
	2	② 中学生 自主事業 ・中学生学習ルーム ・中学生とあそぼう(中止)	随時		13	-	6	1	24	12	1	38	2	0	0	0	0	0	・新規事業「中学生学習ルーム」を実施。静かに勉強できる環境が欲しいとの要望に応え実施したが、夏季休暇の短縮で中学生利用が減少、参加者はなし。土曜日の短い時間だが中高生の居場所と静かに勉強できる環境作りとして今後も実施していく。
	小 計						6	1	24	12	1	38	2	0	0	0	0	0	

項目	事業 区分	実施日・事業名	実施日	指定 回数	年度評価		実施 回数 R1	令和元年度の参加人数					実施 回数 R2	令和2年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					令和 元 年度	令和2 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
子育て ネットワークづくりの 推進	1	① 相談事業 ・子育て相談日(毎月)	月1回	12	14	13	12	10	0	0	7	17	1	0	0	0	0	0	・コロナの為相談日は1年を通じ1回。来館者から子どもの発達やしつけ、入園に等様々な相談を受けた。 ・コロナ下で外出機会が減り、児童センターで気軽に相談できることは保護者の安心できる場所となっている。
		② 講習・講演・多連携 ・ヤクルト親子健康講座 ・科学工作 ・わんぱくまつり(中止) (未実施) ・赤い羽根配分金事業 ・歳末助け合い募金事業	随時	2			5	43	56	1	63	163	2	7	5	0	7	19	・4月にボーイスカウトと親育ち4363たじみプラン協賛事業「第13回多治見わんぱくまつり」、7月に児童館5館連携事業「人形劇」の実施を予定して準備を進めていたコロナの為中止。 ・ヤクルト健康講座を2回実施(1回は乳幼児親子を対象事業として乳幼児自主事業に計上)。2回目はお母さんの健康講座として行い骨密度やヘモグロビン測定等自身の健康に関心を持つ良い機会となった。 ・核融合科学研究所から講師を招き科学工作を実施。夏休み短縮により日程を調整し冬休みに実施。参加者に喜ばれた。廃棄される材料を使うことでSDGsや環境について考える機会となった。
		② 母親クラブ(未実施) ・母親クラブ「ピッカパー」	随時				8	43	7	1	50	101	0	0	0	0	0	0	・コロナの為、4月に母親クラブから人を集めることを避け、すべての活動を休止する申し入れがあった。 ・年度末に検討し、現会員の子どもが中学生になり利用が少なくなったため、一度解散し新たに立ち上げることが望ましいとの結論になった。 ・次年度以降母親クラブ立ち上げを支援していく。
	小 計						25	96	63	2	120	281	3	7	5	0	7	19	
	2	③ 子育て自主事業 ・ひめのちびっこママサロン (親育ち4363たじみプラン協賛事業)(中止)	随時		15	-	3	36	0	0	33	69	0	0	0	0	0	0	・保健センター・南姫公民館と親育ち4363たじみプラン協賛事業「ひめのちびっこママサロン」を5月～7月に3回開催する予定で、多くの参加申し込みもあり準備を進めたが、コロナの為中止。
小 計						3	36	0	0	33	69	0	0	0	0	0	0		